

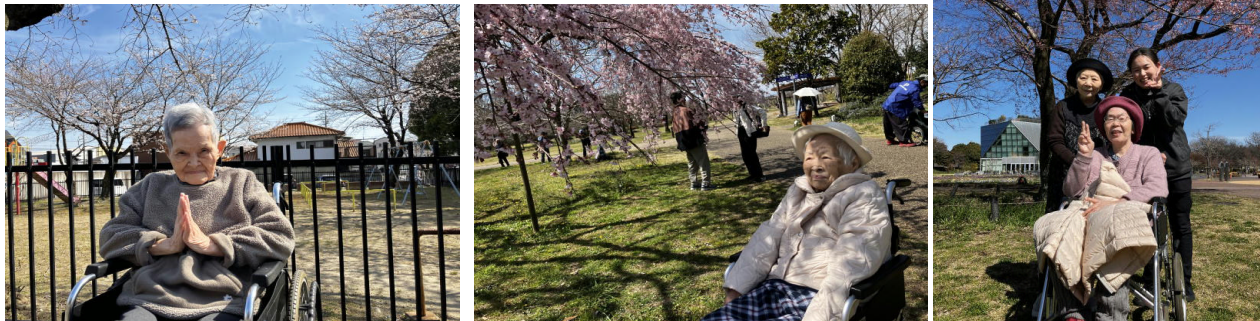


はなえくぼ扶桑便り No.61

令和8年4月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字齊藤字緑223
(0587) 93-7833

『桜の季節がやってきました!!』

暖かくなったり寒くなったり、花粉や黄砂が俟ったりと、体調管理が難しい日が続きますが、はなえくぼ扶桑では、元気に外に出て短い春を満喫しています。みなさんと桜の花を楽しむために。どこの桜が咲き始めたか、見ごろを迎えたか、情報収集をして、天気とも相談しながら出かけます。木曽川の堤防沿いの桜、フラワーパーク江南の桜、前利神社の桜。今年も堪能することができました。



『はなえくぼ扶桑にも桜の花が咲きました』

はなえくぼ扶桑に大きな「春の壁画」が登場しました。何日もかけて、利用者さん、スタッフが協力して花びらに色を塗り、切り取り、最後は一気に貼り付け作業をして完成させた大作です。

「ここにはこの色が欲しいね」「これはここに貼るときれいかな」みなさんで話し合いながら完成させました。出来上がった作品に、「わー、きれいにできたね」と歓声があがりました。

室内でも春の訪れを感じながら、笑顔の絶えない毎日を過ごしていきたいです。次は、どんな作品を作ろうかと、今からワクワクしています。



『救命救急訓練』

3月30日、消防署員の方をお招きし、応急手当やAEDの使用方法についての訓練を行いました。

ご利用者様の急な体調の変化などに備え、実技を交えながら、職員一人ひとりが落ち着いて対応できるよう確認しました。特に窒息時の対応については、食事中の事故を想定し、職員がペアになり、背部叩打法や腹部突き上げ法の実践練習に真剣に取り組みました。また、救急車の呼び方も詳しく指導していただき、命を守るための行動の大切さを、改めて実感する機会となりました。

今後も、ご利用者様に安心して過ごしていただけるよう、職員一同努めてまいります。



『気持ちに寄り添う対応を』

認知症の方に限らず、自分が大切にされていないと感じることは辛いものです。社会や家庭で活躍していた頃、自分の力で生活できていた頃は、自信もあり、「大切にされているかどうか」を深く考える必要もなかったかもしれません。しかし、年齢を重ね、できないことが増え、認知症の症状によって思い通りにいかない場面が増えると、多くの方は自信を失っていきます。「迷惑をかけているのではないか」「自分はもう役に立たないのではないか」そんな思いから“自分を大切に思う気持ち”が、小さくしぼんでしまっている人が多いのではないのでしょうか。「自分は大切にされる存在ではない」と感じている方もいらっしゃるかもしれません。

その気持ちは、周りの関わり方によって少しずつ変わっていきます。私たちが日々の言葉や態度で、「あなたは大切な人です」という思いを伝えていくことで、しぼんでしまった気持ちをゆっくりとふくらませていくことができます。特別なこと、大げさなことをする必要はありません。

- ・名前を呼んで声をかける
 - ・目を見てゆっくり話す
 - ・その方のペースに合わせる
 - ・「ありがとう」「助かります」と伝える
- こうした小さな積み重ねが、「あなたは特別で大切な存在です」というメッセージになります。

使わなくなったタオルがありましたらご寄付をお願いします。

次回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110
グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地
(0587) 52-3808
はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています